

平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業名	保健福祉施策事業			会計	款	項目	大専	小専
政策	O4	4節	誰もが充実した生涯をおくることのできる流山（市民福祉の充実）	主管課	社会福祉課			
施策	4-7	誰もが安心して利用できる社会サービス体制づくり		主管課長	石戸 敏久			

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	市民等	意図	保健福祉施策の円滑な運営と市民の理解とサービス利用の増進
事業内容	保健福祉の施策を推進するための事務執行と事業実績を冊子にし、事業（サービス）内容を的確に紹介している。また、平成30年度より福祉有償運送の運転を行う者が受講する講習の受講料の一部について補助金を交付する。			
事業開始から現在までの状況変化	平成22年度は保健福祉施策事業と「流山の保健・福祉」発行事業が分割されていたが、平成23年度から統合され、保健福祉施策事業として、必要経費の旅費、消耗品、複写機等使用料を執行。平成30年度より福祉有償運送運転者講習受講料補助金制度を設け、地域福祉の向上に努める。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
	①	「流山の保健・福祉」ホームページビュー数	868	430	309	回	↑↑↑
②	福祉有償運送運転者講習会受講料補助金申請件数			4	件	↑↑↑	
③							
④							
⑤							
⑥							

指標で表すことができない定性的な成果

目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）
保健福祉の主な事業内容と3年間の実績をまとめた「平成30年版」の「流山の保健・福祉」を作成し、市のホームページに掲載して市民の利用促進を図った。また、福祉有償運送事業者に対して、福祉有償運送運転者講習会の案内等の情報提供を行った。

事務事業のコスト	平成28年度	平成29年度	平成30年度
事務事業の総コスト(a=b+c)	2,940,911	3,773,371	3,723,424
事業費(b)(円)	881,411	1,759,771	1,745,824
うち一般財源	881,411	1,759,771	1,745,824
職員給与と費(c)(円)	2,059,500	2,013,600	1,977,600
人役・職員(人)	0.30	0.30	0.30
人役・再任用(人)			
人役・臨職(人)			
人役・嘱託(人)			
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）			
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）			

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①H30当初の改善計画(Plan)	保健福祉施策の推進を図るため、流山の保健・福祉の作成を行った。	③取組における課題(Check)	今後も適正な人員を確保し、「流山の保健・福祉」を速やかに発行していくことが必要。
②H30に実施した取組(Do)	「平成30年度版、流山の保健・福祉」の発行を行った。福祉有償運送業者に講習会等の情報提供を行った。	④課題に対する今後(H31～)の改善計画(Action)	適正な人員を確保し、速やかな発行に努める。